



NIPPON BEARING

## 10月25日付 日本経済新聞広告 『かくれ雑学』詳細

### 【ソフトテニスの発祥は日本である】

軟式テニスとも呼ばれるソフトテニス。その誕生は日本でした。

日本に初めてテニス（硬式庭球）が紹介されたのは明治 11 年（1878 年）。  
当時、硬球の入手は困難だったため、玩具用のゴム製ボールを使ってテニスを楽しみました。  
明治 23 年（1890 年）、輸入していたゴムボールにヒントを得て、三田土ゴムが日本製のテニス用  
ゴムボール（軟球）の製造を始めます。  
日々研究が重ねられ、その品質は飛躍的に向上し、この時誕生したテニス用ゴムボールは、  
ソフトテニスの基準球として現在でも活躍しています。

日本で生まれた『軟式庭球』は、昭和 31 年にアジア大会、昭和 50 年には第 1 回世界選手権大会  
を開催し、国際スポーツの仲間入りを果たしました。  
100 年以上に亘って『軟式庭球』と呼ばれていた名称を、平成 4 年には『ソフトテニス』と改め、  
更なる国際普及に努めています。

NB【スライドウェイ】には、日本ベアリング発祥の【スタッドローラー】が内蔵されています。  
ローラーズリップの防止を実現した【スタッドローラーNV形】では、  
昇降などの縦方向の動きや高速の動作でも、製品内部のスリップを完全に防ぐことが出来ます。  
この【スタッドローラーシステム】は、斬新なアイデアと高い技術力によって誕生した、新発  
想システムです。

硬球が入手困難だったことから生まれた【ソフトテニス】、  
どんな動きにも対応すべくスリップを無くした【スタッドローラー】、  
全く異なるジャンルですが、どちらも困難な状況に立ち向かう、日本人魂が生み出した工夫の結  
晶と言えるでしょう。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】